

二	事業の概要
---	-------

### (1) 中長期計画および2021年度事業計画の進捗・達成状況

#### <「中内学園中長期計画（第四次）2020～2024年度」の達成状況>

##### 1. 教学（教育改革）

###### ・教育内容の質的向上

- ▶アセスメント・ポリシーの構築完了
- ▶「考える学習型」授業をより効果的に実践することに資する成績評価方法(ルーブリック)導入

###### ・夢の種プロジェクトの進化

- ▶「学び」の質保証プロジェクトにおいて、単位の実質化推進、演習系科目改善、「考える学習型」授業推進、基礎能力育成推進の具体的施策について検討する教職協働の各チームを立ち上げ2021年度より継続的に活動

###### ・退学・除籍者数減

- ▶退学除籍者数 168名（前年度 193名、前年度比 13.0%減）

###### ・修士課程ならびに博士後期課程における定員充足率の向上

- ▶修士課程 32名（前年度比 106.7%）、博士後期課程 3名（前年度比 50.0%）

##### 2. 教学（大学戦略）

###### ・全学的なマーケティングの浸透に向けて

- ▶社会共創プログラムへの教員参加数 22名（前年度比 129.4%）
- ▶起業・事業承継コースと社会共創プログラムの連携推進として、2023年度にキャリアアップセミナー（ベンチャービジネス）を計画

###### ・高大連携の深化

- ▶RYUKAスピーチコンテスト朗読発表会（対面・オンライン併用）を開催。11校 31名の高校生および日本語学校生と 39名の本学学生が参加
- ▶複数の兵庫県高等学校との国際交流活動を実施

##### 3. 教学（内部質保証システムの推進）

・教学・人事・施設・財務の重点項目を実施、「中内学園中長期計画（第四次）2020～2024年度」の大目標を達成することに寄与する内部質保証システムを再構築する

・内部質保証の推進に責任を負う組織を整備し、大学全体として整合性のとれた内部質保証体制を構築する

- ▶公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を2021年度受審し、適合認定。引き続き全学をあげてPDCAサイクルを意識した諸活動を推進し、内部質保証の充実に邁進する

#### 4. 人事

##### ・教育力を最大に伸ばすための評価制度構築・実施

- ▶貢献度の高い教員へのメリハリある評価結果と処遇反映のため、教員表彰制度「中内賞」を制定  
2021年度グループ表彰1グループ、個人表彰3名

##### ・中期推移による教職員数動向を把握した採用計画実施

- ▶中期（3～4年）の教員退職動向を考慮した雇用計画作成完了
- ▶職員の退職動向に合わせた採用計画の策定完了

##### ・職員のキャリアディベロップメント構築と実施

- ▶2022年度より新人事制度導入。管理職への登用基準設定、職責の昇格基準、評価制度、賃金体系の見直し、昇格・降格／昇進・降格の基準設定、研修体系の構築等について制度化を図った

#### 5. 施設

##### ・単年度事業計画・予算に基づく施設設備メンテナンスおよびシステムの安定運用とリプレイス

- ▶当年度の計画・予算どおりに実施完了

#### 6. 財務

##### ・単年度キャッシュフロー、プラスの継続および事業活動収支の均衡を達成するための経費コントロールの実施

(資金収支)

- ▶人件費 2,082 百万円（前年度比 96.4%）
- ▶教育研究経費 1,518 百万円（前年度比 93.6%）
- ▶管理経費 430 百万円（前年度比 92.9%）

(事業活動収支)

- ▶人件費 2,116 百万円（前年度比 96.6%）
- ▶教育研究経費 2,074 百万円（前年度比 94.9%）
- ▶管理経費 477 百万円（前年度比 93.9%）

##### ・新たな収入源確保

- ▶資金運用収入 33 百万円（前年度比 106.4%）
- ▶寄付金収入 57 百万円（前年度比 51.6%）

### <2021 年度事業計画 達成状況>

※2021 年度事業は、「中内学園中長期計画（2020～2024 年度）」の重点項目に基づく、単年度の事業計画であり、奨学金に頼らない磐石な学生募集力とオンリーワン・ナンバーワンの教育力構築を実現するためのものです。

1. 在籍者数（学部生）3,836 名（2022 年 5 月 1 日時点）（収容定員 3,600 名）
2. 入学者数（学部生）909 名（入学定員 900 名）
3. 退学除籍者数 168 名（前年度 193 名、前年度比 13.0%減）
4. 2021 年度進路決定率（日本人学生）86.7%（前年度 86.8%）  
2021 年度進路決定率（留学生（日本国内））100.0%（前年度 100.0%）
5. 内部質保証システムを推進するため、教学・人事・施設・財務の重点項目を継続実施。  
公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を 2021 年度受審し、適合認定。
6. 活気ある組織風土の醸成および学生の成長に貢献できる帰属意識を強く持った教職員の育成の施策として、貢献度の高い教員へのメリハリある評価結果と処遇反映のため、教員表彰制度「中内賞」を制定し、グループ表彰 1 グループ、個人表彰 3 名。  
また、2022 年度より職員新人事制度導入。管理職への登用基準設定、職責の昇格基準、評価制度、賃金体系の見直し、昇格・降格／昇進・降格の基準設定、研修体系の構築等について制度化を図った。
7. 教育の質向上のための施設・インフラ整備について、ほぼ当初計画予算どおりに完了
8. 単年度キャッシュフロー、プラスを継続
9. 事業活動収支を均衡
10. オンリーワン・ナンバーワンの教育プログラムの知名度向上として、新着記事月平均 28.2 本配信